

時事新報の編輯に關する書信にして往々社員へ宛御送致の向も有之候得共宛名の社員不在の事ありて折角の報章も其用を爲さざるを察せられれば斯る書信は一切時事新報編輯局宛にて御送付被下度候

時事新報定額 時事新報一年三百六十五日一日モ休刊セズ其代價選送料廣告料ハ左ノ如シ
一 一箇月前金五十圓 ○三箇月前金一圓五十圓 ○六箇月前金三圓
○一箇年前金六圓
○時事新報社より直接ニ郵便ニテ送送スルモノニ限リ右定價ノ外ニ一箇月二十六日ノ送送料ヲ申受ク
時事新報廣告料前金

Table with 3 columns: 一、二、三 (Number of copies), 一、二、三 (Price per copy), 一、二、三 (Total price). Rows include 一行一冊以上, 一行二冊以上, 一行三冊以上, 一行四冊以上, 一行五冊以上, 一行六冊以上, 一行七冊以上, 一行八冊以上, 一行九冊以上, 一行十冊以上.

時事新報

土地買買の氣勢

人間の生存に缺く可らざるものは富なり富は産出するの要素なり土地を以て最大なりとする然る土地の分配は古來種々の沿革を経過して歐洲諸國の如き其不均等なると其だしく少數の富豪者は獨り之を占有して得たりたれども多數の細民は其下に勞働して唯役々たるの事實多しといふ蓋し事に當りて力を盡さざるは其身に利害痛痒を感ずるの多少によりて差違あるものなれば今若し千頃の美田を有する富豪者が偶々百石の所得を減じたりとて之を對する痛苦の度は左で重しと云ふにも非ざるが故に飽まで百石を減せざらんと欲するの奮發心も亦隨て沸からんかれども百畝の地主が時又十石の收穫を減するともありとせんや一家の經濟に影響を及ぼすと容易からざれば粉骨碎身あらん限りの力と盡して及ぶべきだけ收穫を増さんと勉むるある可し即ち大地主は生産の増殖、土地の改良等萬事に付けて注意を加ふると淺きに傾き小地主は悉くとして唯及ばざらんとせられ權の事情を見る可し左れば一國の生産上より觀察して少數の大地主より土地を占有せざるは多數の小地主に分割するの利害を如何と爲ねざらば後者の利あると固より論を俟たざる所なり然れども人間の權利上より之を察するも優勝劣敗は勢の免れ難き所にして金力の多き所に權利も亦これに伴ひ貴富の相去る遠ければ下に屈從せざるを得ずしてすると甚まざるに至るものあれば今夫れ生産の最大要素たる土地を奪つて之を少數富豪者の占有するは是は地主は獨り威福を恣にするに之に附從する努力を盡し權利を伸ぶると能はず遂に餘儀なく唯命に聽從するに如く奴隷に非ざるも其實は全く奴隷となり到底其土地を兼併するは細民の責任心を減ずるの基にして責任心の減少は人口の増加を速にし人口の増加は貧困をして益々貧困ならしむるの事例古來歴々徴すべきものあるとされば西洋學者輩の所論も今は漸く小地主の多數を可とするに歸したるものゝ如し尤も英國の經濟學者中には社會の生産事業を唯自由競争に一任せんと論ずるもあれども生産要素の分配極めて不平等の狀態にては如何にして自由競争の行はるべき謂れざしとて獨逸其他諸國學派の人々の如きは口を極めて殊土地分配の不都合あると論じ此般の事は政府の宜しく

干渉すべし所のものなど云々として議論真最中の趣なれども誰か知らん東洋の一隅に位せる日本國にては土地の分配の最も宜しきを得て古來多數の小地主に分れ耕地の大概は所謂五反百姓の手に歸して殆んど經濟上至公の進路を直行したるものあらんとし遂に西洋諸國に向て其美を誇るに足るものと云ふべし
然るに近來世間の不景氣として金融の閑慢なるが爲め資本家の中に往々眼を轉じて土地を購買せんと欲する者あれば地主も亦様々の事情に迫られて之を賣却せんとせるの狀況も立到りて殊に地券なるもの出でしより不動産も動産に異ならずの賣買甚だ容易ければ思慮もなく朝又地券を賣りて夕に一杯の清酒を食はるなどの嗜も度々吾人の耳にする所にして從來立派ある地持百姓も往々將々轉じて地主の奴隷たらんとするの傾向ありと云ふ尚又傍觀に忍びざる次第にして歐洲諸國にては頻りに土地兼併を非として成るべく小民に分割せんとするの折柄我國にては却て漸く富豪專有の弊に近寄りつゝあるを知らず識者の痛心する所ありと雖も然れども此事たるや金満家に對して強て物を買ふ可らずと咎む可きにも非れば寧ろ此等の地主農夫に向て其所有地を賣る勿れと勸むるの外ある可らざるあり蓋し今日に當りて土地を賣る者は之と所有したるをばと到底引合ひすと云ふにあるものゝ如しと雖も是れ其甚だ短慮なる早計にして數百年來の經驗に徴し地持百姓は其生活華美なるを得ざるも失敗倒産の禍少なく人間諸種の財産中にて地面を最も平和にして最も安全なる寶として之を尊重したるは今更疑ふ可くもあらざれば假令へ近來の地主にして多少の不利あるも一時の難相とて之を忍び以て祖先傳來の所有權を失ふなからんこと我輩の勸告する所あり嗚へば爰も人なり生來三十歳に至るまで米麥を常食として無病健康なりし近來凡そ六ヶ月穀物を食ふて不消化を感じたりとて終生米麥の食を絶たんとする者あらば之を評して無謀短慮の人と云ふふと然らば今土地は三百年來（假に三百と云ふ）最良最安の財産なり近來凡そ五ヶ年もの利あらざるを見たりとて俄に之を手放さんとするの六ヶ月の不消化に復して三十年來の常食を絶つものに異ならず智者の事と云ふ可らざるなり蓋し此六ヶ月の不消化は食物の罪に非ずして身に病むるが故なり五ヶ年の不利も亦斯れ如し畢竟土地の罪には非ずして之をして不利ならしめたるものは別に其原因あるが故に他年一日天下の理財法を回復して常態を呈せるときは土地所有の利益も亦必ず復して復せざるを得ず我輩は斷じて今日其買却の不利を言ふ者なり（未完）

大に之を愛へ委員を擧んで實況を觀察せしめ之處目下同地方に露國農夫の止まるもの非常に少く皆南方より向ひ轉住せしよし云々と近著の西字新聞に見ゆ
○黒人の補助 俗に補助と稱する頭大の人身に其の儘なりと云ふ人あり合衆國北カリフォルニア州に住して名をセルセトと稱する黒人は本年廿二歳肌膚黃色にして容貌整潔の相あり目に一丁字かけれども數理に明かなる事驚くべし然るに身の丈はと尋ねれば僅かに三尺五寸餘目方七十五度頭（九貫目）にして頭之歩行のなり難程程重く周圍三十二インチ（二尺六寸八分餘）あり故に起居動作の間常に兩手にて頭部を支持し居ると云ふ

○三重縣茶葉の景況 三重縣茶葉組合聯合會所より中央會議所への報告に依れば發芽の平年に比すれば一週間早く發育も氣候の宜しきを得て故に生育せり依て收穫の例年より一割も多き見込なり又製造の若手早きは四月廿二日頃にして普通摘芽は五月二日頃より着手せり然るに例年一本縣下一番茶製造期を終りし後近隣國近江大和等の一番茶製造期なりしも本年は概して其季節を同じくするを以て職工及び摘採等に缺乏と訴ふるの姿なり之が爲め賃銀も一割方騰貴せり製造費も同様騰貴に一割方の上進と顯はせり其製茶及び生葉賣買價格は普通摘芽五月一日四月廿八日荒茶一貫目上一圓六十錢、中一圓四十五錢、五月三日同上四十五錢、中一圓三十錢、同四日上一圓三十錢、中一圓十五錢、下一圓五錢、又生葉は一貫目に付四月廿八日廿七錢五月三日廿二錢五月八日十二錢なりしと

○奈良通信 五月九日發 奈良縣茶葉 最近の調査に依れば當縣下製茶の產額は一年四百萬斤の巨額にして農産物中實に主要の物産なるが本年該作の景況は肥料の騰貴し地元にて於て充分の培養となし能はざるに拘らず昨冬期以來氣候平順なるを以て可成りの上作なりしに本月差入以來氣候俄に寒冷を催はしたるに依り非常の害を被り現に萬城金剛山腹に培植せるものは茶葉黒色に變じ又其他にも是等の害を受けしもの少からずと云ふ

○市町村制改訂委員 市町村制の勅令發布せし以來縣下各地方到處、之の缺を聞かざるな程なるが稅所詳細事ハ本制實施の準備を怠らす既に書記官平山第一部長に取調委員長を其他屬官五名と撰抜して取調委員を命じ、委員は目今之に對する調査となし居れり

○九鬼圖書頭 本邦美術而古器文書等取調の御用にて不日來縣すべき彼の九鬼圖書頭へは奈良正倉院の御寶物拜觀を許るされたる旨其筋より稅所縣知事へ通達ありたどとぞ

○東京灣築港論 番町 實木生 東京灣築港の事は既に社會の問題となり殊に東京の紳商間に於て専ら此計畫ありと聞及び去る十一日發兌の時事新報を關するに終に東京商工會員の議決する所となり第一東京灣に港を築くの理由と究め築港に因て續生すべき直接間接の利益を取調ぶると第二築港に因て企つると云ふ土木工事の設計は如何すべきや云々第三設計立て豫算成たる上は經費の支出は如何の方法に由

○支那商人の申合 是迄佛領東京ナマロンへ支那船の入港する事は毎日平均十艘位ありし由あるが去る三月中佛政府は之に非常の重稅を課したるよしにて同商人等は一同申合せ一切入港を停止したるが其重稅あるものは積荷の價値より多額なりといふ

○露國領民地の困難 中央亞細亞のトルキスタン地方に接してセルゲヤン州として露國の領地あり數年前より露國政府の同地方に殖民地を設け本國の農夫と移住せし居りしが近頃亦至り支那農夫は同地方に進入し露國の農夫と競争する勢を呈せしに露國政府は

るか云々の三箇の擧たる事の大なるも實際に於て生ると一層甚恐るなり今露國出入の貨物の直接に東京灣に入るを賣込と商賣の爲すに至ると重なるに至ると任するに至ると東京商人の智識出でずして東京灣に船を寄せり然れども此情勢多あり又情勢多ありと云ふべし此地に築港するべし此地に築港するべし此地に築港するべし

○東京灣築港論 番町 實木生 東京灣築港の事は既に社會の問題となり殊に東京の紳商間に於て専ら此計畫ありと聞及び去る十一日發兌の時事新報を關するに終に東京商工會員の議決する所となり第一東京灣に港を築くの理由と究め築港に因て續生すべき直接間接の利益を取調ぶると第二築港に因て企つると云ふ土木工事の設計は如何すべきや云々第三設計立て豫算成たる上は經費の支出は如何の方法に由

○市町村制改訂委員 市町村制の勅令發布せし以來縣下各地方到處、之の缺を聞かざるな程なるが稅所詳細事ハ本制實施の準備を怠らす既に書記官平山第一部長に取調委員長を其他屬官五名と撰抜して取調委員を命じ、委員は目今之に對する調査となし居れり

○九鬼圖書頭 本邦美術而古器文書等取調の御用にて不日來縣すべき彼の九鬼圖書頭へは奈良正倉院の御寶物拜觀を許るされたる旨其筋より稅所縣知事へ通達ありたどとぞ

○東京灣築港論 番町 實木生 東京灣築港の事は既に社會の問題となり殊に東京の紳商間に於て専ら此計畫ありと聞及び去る十一日發兌の時事新報を關するに終に東京商工會員の議決する所となり第一東京灣に港を築くの理由と究め築港に因て續生すべき直接間接の利益を取調ぶると第二築港に因て企つると云ふ土木工事の設計は如何すべきや云々第三設計立て豫算成たる上は經費の支出は如何の方法に由

○支那商人の申合 是迄佛領東京ナマロンへ支那船の入港する事は毎日平均十艘位ありし由あるが去る三月中佛政府は之に非常の重稅を課したるよしにて同商人等は一同申合せ一切入港を停止したるが其重稅あるものは積荷の價値より多額なりといふ

○露國領民地の困難 中央亞細亞のトルキスタン地方に接してセルゲヤン州として露國の領地あり數年前より露國政府の同地方に殖民地を設け本國の農夫と移住せし居りしが近頃亦至り支那農夫は同地方に進入し露國の農夫と競争する勢を呈せしに露國政府は

○支那商人の申合 是迄佛領東京ナマロンへ支那船の入港する事は毎日平均十艘位ありし由あるが去る三月中佛政府は之に非常の重稅を課したるよしにて同商人等は一同申合せ一切入港を停止したるが其重稅あるものは積荷の價値より多額なりといふ

○露國領民地の困難 中央亞細亞のトルキスタン地方に接してセルゲヤン州として露國の領地あり數年前より露國政府の同地方に殖民地を設け本國の農夫と移住せし居りしが近頃亦至り支那農夫は同地方に進入し露國の農夫と競争する勢を呈せしに露國政府は

當分木曜日面接ヲ謝絶ス
五月十二日
西郷從道

勉強の廣告
○西郷從道

○西郷從道

○西郷從道